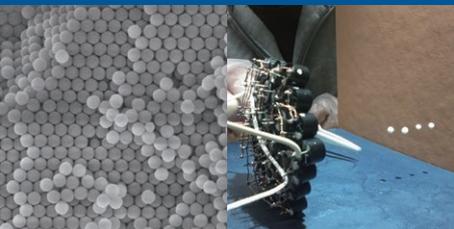


早稲田大学先進理工学部

School of Advanced Science and Engineering

「研究の早稲田—先進のその先へ—」



物理学科

応用物理学科

化学・生命化学科

応用化学科

生命医科学科

電気・情報生命工学科

<http://www.ase.sci.waseda.ac.jp/>



学部長に聞く

Interview to dean

早稲田大学 先進理工学部長・研究科長

電気・情報生命工学科 教授

若尾真治

Shinji WAKAO

「研究」と「教育」とが 密接にかかわる現場で、挑戦しよう



学部カリキュラムの締めくくりである卒業論文や、大学院での修士論文、博士論文の作成は、先進理工にある数多くの研究室のいずれかに所属して行うこととなります。いずれの研究室も、世界の第一線で研究活動に力を注ぎ、科学技術の発展に常に貢献し続けています。そのような環境の中に積極的に自ら飛び込み、世界レベルの高い目標を掲げて邁進するという経験を得てほしいと思います。

ただし、学生生活がそれだけでは勿体ないと思いませんか？学問だけでなく、友人、社会活動、留学、サークル、旅行など、あらゆることを思う存分経験してほしいと思います。

研究力の強化を軸に、大学の使命に応える

— 今後の展望を教えてください

「研究大学としての早稲田」を牽引してきたと自負している先進理工において、一層の研究力強化を図りたいと考えています。

先進理工では、複数の産学組織にわたる大型プロジェクト研究を主導的に実施することも多く、国レベルの研究の第一線に大学院生が直接関わる機会も数多く見られます。これは、豊かな社会の構築を目指した「研究」の場であり、同時に大学における「直接的社会貢献」の姿でもあり、それに関わる学生の皆さんにとっては自らを成長させる最高の「教育」の機会でもあります。

高いレベルでの研究が、それに切れ目なく連結する学部・大学院教育をより高度なものとし、そのことが研究力のさらなる向上につながっていく、そのような学部・大学院を通じての教育研究の在り方をこれからも追求し続けていきたいと思っています。

「自由」を謳歌して、たくさんのチャレンジを

— 先進理工学部／先進理工学研究科で学ぶことを志す方々へのメッセージをお願いします

大学にはより大きな「自由」があり、様々なことに挑戦できる極めて充実した環境を先進理工では整えています。数多くの選択肢に対し、あらかじめお膳立てされた型にはめられることなく、自分の意志で好きな方向に手を伸ばせるという「自由」を存分に謳歌して欲しいと思います。先進理工で最先端の科学を学び、サークル活動などの課外活動でも出会うであろう生涯の友人達とともに、皆さんの夢を実現してください。

— 先進理工学部／先進理工学研究科の特長を教えてください

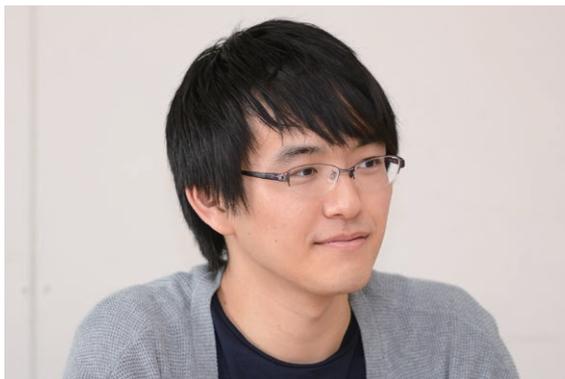
先進理工学部は、物理、化学、生命、電気、情報をはじめとする多様な学問領域において、真理の探究から社会実装までを網羅する6学科で構成されています。また、先進理工学研究科には、学際型専攻や他大学との共同専攻なども含め、学科数を超える11の専攻を置いています。

先進理工では、「教育」と「研究」が切れ目なく密に統合されていることが最大の特長です。学部の早い段階から専門科目が設置され、大学院進学内定者への大学院科目先取り履修制度、国内外での大学院生の研究成果発表の推奨など、先進的な科学技術領域で真に活躍できる人材育成を目指した教育研究活動が、学部・大学院を通じて展開されています。

早稲田大学には充実した奨学金制度が整備されていますが、これに加え、先進理工独自の奨学金の充実にも力を入れています。

世界レベルで展開される研究の場を活用して、成長してほしい

— 在学生にはどのようなことを期待していますか



熊倉章哲

Akisato Kumakura

物理学科 3年

入学当初から物理漬けになれる！ だから刺激的な学生生活を送れます

入学時には専攻分野が決まっていない大学とは異なり、早稲田大学の物理学科では1年生時から専門に根ざした講義が展開されます。入学してすぐに受けた「物理入門」では、先生方が順番にご自身の研究の概要を説明してくれましたが、最初から最先端の研究内容を具体的に知ることができて、とても刺激になりました。また、1年から実験科目が充実していて、3年になって専門分野の実験に入ると、高温超伝導などの現代の最先端技術の基礎となる実験を行うことができます。入学してからずっと物理漬けなので、とても刺激的な生活です。

今、物理や数学を勉強する人のなかには、演習を繰り返し、類出パターンを覚えようとする人もいます。しかし、大学に入ってからのことを考えるとあまりおすすめできません。小手先の解答テクニックだけでは大学に入ってからギャップに苦しむからです。大学では基礎を徹底して掘り下げて、物理の本質をつかもうとするので、ときには基礎理論を考え抜いてみることをおすすめします。むしろ、基礎を掘り下げる勉強法を楽しめるような人が物理学科に向いていると言えるかもしれませんね。



石黒奎弥

Keiya Ishiguro

応用物理学科 4年

早稲田の応用物理は、基礎理論から 最先端の応用まで学べて恵まれています！

もともとは、東日本大震災で救援ロボットが活躍する報道を見たことがきっかけで、工学系に進み、ロボット開発に携わりたいと思っていました。ところが、勉強するにつれて、最先端の分野がたくさん基礎理論に支えられていることがわかり、理論にも興味を湧いてきました。そこで、応用も基礎理論も学べる応用物理学科を選びました。

早稲田大学の応用物理学科では、最先端の研究や次世代技術に触られます。入学当初、「物理にはこんなにたくさんの応用先があるのか」と驚いたほどです。その一方で、物理学科と授業がほとんど同じですから、基礎理論についてももしっかり学べます。基礎から応用まで選択肢が幅広く、学生にとっては非常に恵まれた環境です。

何かを成し遂げるまで物事を継続するには、好奇心がどれだけ続くかが大事だと思うのですが、この応用物理学科にはそれをかき立ててくれるものがたくさんあります。もし、心の琴線に触れるような研究が応用物理学科にあれば、ぜひ一緒に学びましょう。



永井理香子

Rikako Nagai

化学・生命化学科 4年

大学の化学は「考える化学」だから深くて面白い 今は新しい化合物の物性を実験で調べています

柴田高範先生の研究室では、遷移金属（周期表で示すと、中央あたりの第3族元素から第11族元素の間にある元素）を触媒とした化学反応を中心に研究しています。これら遷移金属と、炭素を含む有機化合物とが結びついた有機金属錯体を触媒とした化学反応も研究対象です。そのなかで、私は「シラヘリセン」という有機化合物の新規な骨格を新しい手法で合成しています。シラヘリセンは柴田研究室で不斉合成されてからそれほど時間が経っていない新しい化合物です。どのような特性があるのか、まだ詳しくわかっていません。

高校では化学をほとんど座学で学ぶため、面白くないと思う人もいるかもしれませんが、大学ではたくさん実験をして、実験をするたびに結果に対してさまざまなことを考察します。また、有機化学では、化学反応に電子の働きが加わり、理論立てて反応機構を追っていく面白さや、どの反応条件が最適なのかをパズルのように組み合わせていく楽しさがあります。このような「考える化学」はとても複雑で奥深いので、興味がある人はぜひ一緒に学びましょう！



村本奈穂

Naho Muramoto

応用化学科 4年

誰もやったことのない実験 何が起こるかわからないからこそ楽しい!

私の研究はケイ素を使った透明断熱材の開発です。今のところ、透明断熱材は少なく、建築分野で実用化されている高性能な断熱素材はほとんどありません。私が所属する黒田・下嶋・和田研究室では長くケイ素を扱ってきましたが、断熱材は研究室ではじめて扱うテーマなので、試行錯誤中です。

研究は自分の思い通りになりません。でも、世界中の誰もまだ見つけていないこと、そしてまだ結果がわからないことをやっているの、たとえ想定していた結果とは違っても興味をそそられます。「いったいどうしてこんなことが起こるのか」と驚かされるからです。

大学はおそらく皆さんが思っているよりも、専門分野を始め様々なことを勉強できる場所です。早稲田にはonとoffの切り替えがうまい人が多く、勉強と趣味や遊び、どちらかだけではなく、両方を全力で取り組む人ばかりです。ですから、いろいろな意味で学びが多く、人生の糧になります。ぜひ、早稲田に入って、たくさん学んで、色々な経験をしてください!



川羽田朱里

Akari Kawabata

生命医科学科 4年

TWInsの最新設備と「オープンラボ」で 多様な角度から医学・生命科学にアプローチ

生命医科学科では、医療・生命科学への応用を目指して研究を行っています。研究室の強みや得意分野に合わせて、物理、化学、生物だけでなく、コンピュータを用いた情報工学など、様々なアプローチで研究が進められています。

私が所属する大島研究室では、脳の神経細胞の機能や神経回路を制御する遺伝子に着目し、主にマウスやゼブラフィッシュを用いた実験を通じて研究しています。私はゼブラフィッシュを使って神経回路が正しく形成されるメカニズムを調べているところです。

学部4年から配属される研究室では、東京女子医科大学との連携先端生命医科学研究教育施設、通称「TWIns (ツインズ)」において、医療や健康への貢献を目指して、理工学と医学を融合させた新しい研究が日々行われています。生命医科学科はTWInsで、研究室すべてが壁のないひとつの大きな部屋に入っている「オープンラボ」形式を採用。ほかの研究室との交流が活発に行われ、豊かな発想の源泉となっています。



永山瑞生

Mizuo Nagayama

電気・情報生命工学科 4年

ニューロン 実験用ラットの神経細胞をデータ解析し 睡眠時や覚醒時の特徴、時間変化などを調べる

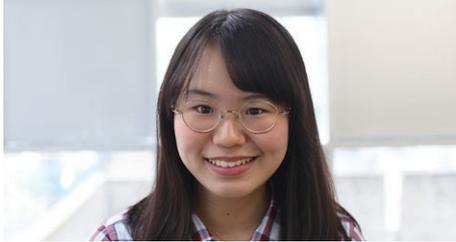
電気・情報生命工学科には、電気・電子・情報などの領域と、生命科学分野の領域で多彩な研究を行う先生方が集まっていて、双方の融合領域での研究も進んでいます。近年注目されているように、生命系の神経細胞 (ニューロン) や遺伝子などが電気や情報と深い関わりがあるからです。

私が所属する村田研究室は、「機械学習」や「ディープラーニング」などで注目される分野で、情報やデータを解析する方法の研究とその応用に取り組んでいます。私は他大学の先生からお借りした実験用ラットのニューロンのデータを解析しています。PCでプログラムを作ってデータからニューロン間の関係を「グラフ構造」で示し、睡眠時・覚醒時の特徴や、時間ごとの変化を調べたりしています。

受験に際しては、どんな大学生活を送りたいのか、大学で何をやりたいのかを考えて、リサーチし、学部・学科を決めると良いと思います。大学に入ったら、好きな勉強を思う存分できるので、頑張ってください。

友田寛子

Hiroko Tomoda
物理学科 2年



7:30 起床

6限の授業やサークル活動などで帰宅時間が遅い日が多いため、2限から授業の日はゆっくり起きます。

10:40~12:10 2限 常微分方程式

物理を記述するうえで非常に重要な微分方程式の授業です。微分方程式の解法自体は1年次に学びましたが、この授業ではその背景について深く学ぶことができます。



12:10~13:00 昼食

次の授業の教室で友達と昼食をとります。授業が1日中詰まっている日は、昼食の時間は心落ち着くひとときです。

13:00~14:30 3限 複素関数論1

複素関数論は物理の計算を簡単にするために必要な学問です。その利便性は、現在履修している回路理論Aで実感しています。授業では教授が学生の興味を引く面白い話を交えながら、基礎から解説していただけます。



14:45~18:00 4-5限 数学演習

2限連続で「常微分方程式」や「複素関数論」などの演習を行います。1年次にも「物理学研究セミナー」という演習の授業があったため、約3時間の演習にも抵抗はありませんが、証明問題など単なる計算では済まされなような問題に毎回苦戦しています。しかし、友達と相談しながら解くのは非常に楽しいです。

19:00 帰宅

帰宅後は、大学の課題に取り組んだり、ギターを練習したりしています。また、家庭教師のバイトをしているため、直接生徒さんのお宅に伺う場合もあります。

サークル活動

早稲田大学アンサンブルギター

理工公認のクラシックギターサークルに所属しています。毎年12月に開催される定期演奏会では、クラシックだけでなく、エレクトリックベースとパーカッションを入れてJ-popなども演奏します。アットホームな雰囲気先輩が丁寧に指導してくださるので、初心者だった私も今ではクラシックギターが趣味となっています。



受験生へのメッセージ

物理学科には、物理や数学について議論することが大好きな学生が多くいます。受験勉強では結果ばかりを気にしてしまいがちですが、どんなときも時間をかけてじっくり考えるということを大切にしてください。きっと受験勉強も楽しいと思えるはずです。焦らず、自分を信じて頑張ってください。

平田明日香

Asuka Hirata
応用物理学科 2年



6:20 起床・登校

家からキャンパスまで1時間半ほどかかるので、余裕をもって行動できるよう、この時間に起きています。



9:00 自習

1限のない日の朝は、図書館などで授業で出た課題に取り組んだり、予習・復習を行ったりしています。図書館の書籍はとても充実しているので、自習の時にはよく利用しています。

10:40~12:10 2限 電磁気学A

マクスウェル方程式などの電磁気学の基礎を、教授がわかりやすく解説していただけます。内容も充実していて、物理学全般で使える数学の知識も身につきます。



12:30 昼食

友人と一緒に昼食をとります。3限のない日は大学周辺のお店でランチをすることもあります。西早稲田キャンパスの周りにはおいしいお店がたくさんあるので、いつもお昼が楽しみです！

16:30~19:30 5-6限 物理学演習

統計力学、電磁気学、解析力学の問題演習を行います。難しい問題も多いですが、友人と協力しながら問題を解いていきます。数学的な問題も多いので計算力もかなりつきます。



21:00 帰宅

翌日の授業や演習に集中できるように、帰宅後はのんびりテレビを観たり早めに寝たりしてその日の疲れを癒します。

サークル活動

New Music Club

バンドサークルにキーボード奏者として所属しています。ライブをより良いものにしようと、バンドメンバーの皆と試行錯誤しながら練習しています。勉強との両立は少し大変ですが、ライブ後の達成感は格別です。

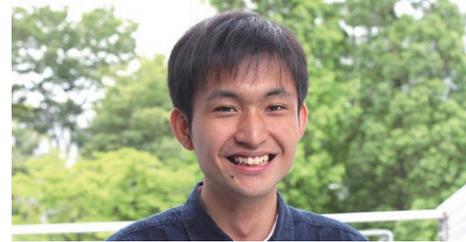


受験生へのメッセージ

大学で扱う内容はいずれも専門的で、高校までの勉強よりも遙かに深みがあります。授業や演習を通して物理学を学んでいく中で、物理や、その理解に必要な数学の美しさを感じることもとても多いです。そしてなにより、自分の理解できることが増えていくのが嬉しいです。

小林千騎

Kazuki Kobayashi
化学・生命化学科 2年



7:30 起床・登校

ぎりぎりの時間に起きてしまうので、朝は忙しいです。節約のために1駅歩いていきます。

9:00~10:30 1限 Academic Reading

英語の学術的な文章を読む力をつける授業です。英語は苦手ですが、化学を学んでいく上で英語をつかえることはとても大きな武器になるので、苦手なりに頑張っています。

10:40~12:10 2限 振動と波動

振動と波動について扱う物理の授業です。一見、化学と関連がないように思えますが、化学でも振動や波動は重要な概念です。



12:10~13:00 昼休み

次の授業が実験なので、プレレポートを確認しながら、その日の実験内容を整理します。円滑に実験を行えるように準備するための貴重な時間になっています。

13:00~18:00 3-5限 無機分析化学実験

今後の化学実験の基本操作を身につけるための実験です。座学で学ぶのとは違い、実際に実験操作をしながら学べ、理解を深めることができます。



2010年7月にこの実験室で「国際化学オリンピック」が開催され、68カ国・地域から267名が参加し、化学の力を競いました。世界基準の設備での実験ができるのもこの授業の魅力です。

18:00~ 自習

実験前後のレポートや授業内容の予習復習のために、勉強してから帰宅します。授業の内容を自分の言葉で説明できるようにすることを日々の勉強の目標にしています。

サークル活動

早稲田ローバース

早稲田大学唯一のボーイスカウトのサークルに所属しています。アウトドア、ボランティア、国際交流の3つの要素を大切にしながら、日々ボーイスカウト活動を行っています。



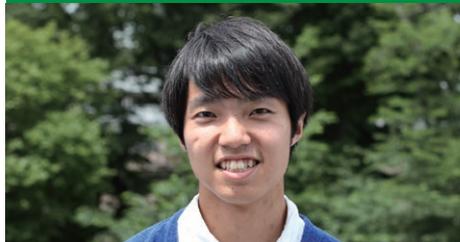
受験生へのメッセージ

本学で学ぶ化学は、「現象を理解すること」や「考え、実験すること」が重要になっています。未知のことを理解して説明できるようになり、実験などによって新しい発見をすることが、僕にとって化学を学ぶ上での楽しみです。受験を頑張って、本学で本当の化学の楽しさを感じてください。

荒木 豪

Go Araki

応用化学科 3年



8:00 起床・家事

大学の近くで暮らしているの
で、この時間に起きて余裕
を持って登校できます。朝食
は前日の夕飯の残りが主で、
毎日とるように心がけていま
す。洗濯物を干して出発です。



9:00~10:30 1限 酵素工学

3年の専門選択必修科目で、
酵素の構造や生体内における
働きなどを学びます。毎回、
日常生活に関わるトピックも
扱うので、興味深く講義を聴
くことができます。



12:10 休憩・昼食

頭を使った後はお腹が空くの
で、毎日この時間が楽しみです。
基本的には夕飯の残りを
弁当箱に入れて持って来てい
ますが、友人と一緒に近所で
外食することもあります。



13:00~18:00 3-5限 物理化学実験/応用化学実験Ⅱ

応用化学科と言えば実験です。
学年全体で十数班のグループ
に分かれ、それぞれの実験に
指導者がついているので、理
解を深めながら実験に臨めま
す。白衣、安全メガネは必須
アイテムです。



22:00~24:00 帰宅・自習・就寝

帰宅後もレポートや課題にコツコツ取り組むようにしています。
課題がないときはテレビを観たりゲームをしたりして、のんびり
過ごしています。朝慌てないように明日の支度をして就寝です。

サークル活動

早稲田ホノルルマラソン走査会

普段の活動としては、サークルの皆と週
1~2回皇居でランニングをしています。
また、フルマラソン、ハーフマラソン、リ
レーマラソンなどの大会にもたくさん出場
しています。おにごっこ、山手線ランなど、
ランニングサークルらしい企画も行ってい
ます。



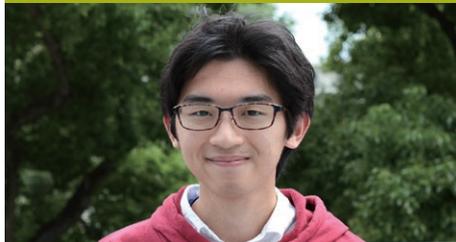
受験生へのメッセージ

応用化学科は必修の授業も多いですが、それゆえに同じ学科の人と過ごす時
間が長く、友達がたくさんできることも大きな魅力だと思います。実験やレポ
ートに多くの時間を割くこととなりますが、1つ1つ課題をこなすことで化学
の知識や経験を身に着けることのできる学科です。

金子知義

Tomoyoshi Kaneko

生命医科学科 2年



7:50 起床

月曜以外全て1限からなので、たいていこの時間に起きます。私
は家が近いのでこの時間で良いのですが、6:30までに起きなけ
ればならない友人もいます。

9:00~10:30 1限 生化学

1年生では物理、化学、生物など
基礎的なことを重点的に学びま
すが、2年生ではホルモン調節
やストレス応答など、専門的な
科目がメインになります。生化学
では生体内化学反応の特性と
その制御機構について学びます。



10:40~12:10 2限 分子細胞生物学B

細胞の構造と機能について学び
ます。生化学同様、専門性が高
いです。しかし、1年秋学期に
習った内容と一部知識がつな
がり始め、面白くなってきま
した。



13:00~18:00(水・木) 3-5限 生命医学実験



実験がある日は、東京女子医科大学との連携施設TWinsへ。生命
医科学系の実験設備が充実しているの、より実践的な実験・講義
を受けられます。教授に質問に行くこともあります。

18:00~授業後 大学構内で自習

週2日にまたがる実験のレポートの執筆や準備がメインです。講
義の復習もこの時間にします。独習の場合も友達とする場合もあ
ります。友達とは質問・議論しながらできるので楽しいです。

帰宅~0:30 家で自習

羽を伸ばしている間に思いついたことをレポートに書いたりしま
す。講義の課題に取り組むのはこの時間です。友達とスカイプを
つないで話し合いながら勉強することもあります。

サークル活動

生命医科学委員会

主に理工展などで生命医科学科がどのような学科なのか宣伝したりしてい
ます。4月の学科1年生のオリエンテーション宿も委員会主催で、一大イベ
ントです。年に数回しか活動しないので負担は少ないです。学科の先輩と知り合
える貴重な場でもあります。

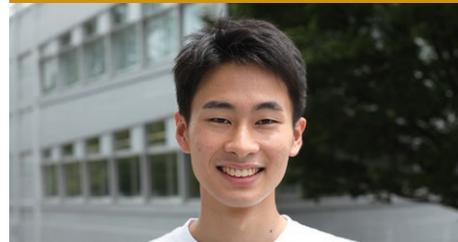
受験生へのメッセージ

生命医科学科で、非常に個性豊かな、誇りに思える友人達、先輩、教授に出
会えました。多くの方にとって受験勉強は辛いと思いますが、それに挑
戦することによって精神的に成長できるはず。頑張ってください。応援し
ています！

鈴木嵩茂

Takashige Suzuki

電気・情報生命工学科 2年



7:00 起床

1限に授業がある日は7時に起き、朝食をしっかりとります。授
業に集中するためにも十分な睡眠時間の確保とバランスの良い朝
食を心掛けています。

9:00~10:30 1限 信号処理

様々な信号を情報として扱い
やすい形に変換する方法を学
びます。数式を理解してから
実際に使いこなせるように
なるまで大変ですが、他の授業
でも非常に役に立ちます。



10:40~12:10 2限 電力回路

電力システムを管理する上で必要になる計算方法を学びます。複雑な
計算の簡略化を可能にする工夫には、毎回驚いてばかりです。

12:20 昼食

昼食は混雑を避けて適宜場所
を選びます。大学生協の売店
を利用することが多く、その
際には次の授業が行われる教
室で食べます。あまった休憩
時間で課題などに取り組みま
す。キャンパス周辺の安くて
美味しい食事処に友人と繰り出すこともあります。



13:00~14:30 3限 憲法 I

日本国憲法について学びます。教職課程の必須科目の1つです。
教授の多岐に渡る興味深い余談を聴くのもこの授業の醍醐味です。

16:30~18:00 5限 回路理論A 演習

前日の回路理論Aで学んだ内
容について演習します。友人
達と相談しながら理解を深め
られるのが魅力です。



サークル活動

早稲田大学宇宙航空研究会

ロケットプロジェクトでロケットやロー
バーを製作しています。活動は週二回程
度です。重力を相手に仲間と試行錯誤する体
験は飽きることがありません。最初は宇宙
にさほど興味がなかった自分ですが、その
奥深さに瞬く間にとりこまれてしまいま
した。共に宇宙を目指してくれる仲間を募集
しています！

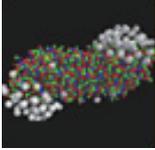


受験生へのメッセージ

電気、情報、生命、どの分野にも道が開かれている学科で、その充実度は入
学時に期待していた以上です。純粋に学ぶ喜びを味わえる上に、実践的な知識
も身につけられる環境がここには整っています。受験生の皆さんには、好きな
事とことん学べる!!という期待を胸に、ぜひこの学科へ来て頂きたいです。

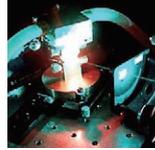
学科・専攻一覧

学科・専攻



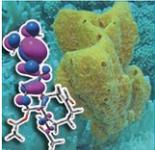
物理学科／ 物理学及応用物理学専攻

素粒子・宇宙から生物までの
自然現象を解明する



応用物理学科／ 物理学及応用物理学専攻

次世代技術の芽と
新しい物理をつくる



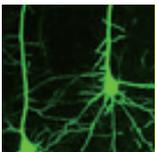
化学・生命化学科／ 化学・生命化学専攻

生命体を含む全ての物質を
原子・分子から見つめる



応用化学科／ 応用化学専攻

役立つ化学・役立てる化学



生命医科学科／ 生命医科学専攻

医・理・工学融合で生命科学を極め、
未来医療を創る

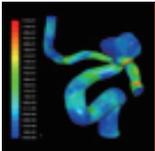


電気・情報生命工学科／ 電気・情報生命専攻

生命科学と電気電子情報工学がおりなす
多様なフィールドが設けられています。
なりたい自分がきっと見つかります。

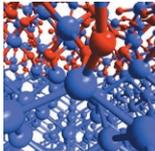


学際専攻



生命理工学専攻

「先端バイオ」と「先進理工」の
協奏で未来を拓く

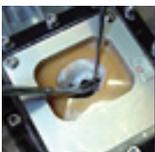


ナノ理工学専攻

1粒の光・電子、
1つの原子・分子の新機能を発揮させ、
豊かな暮らしを実現する



共同専攻



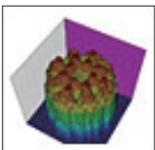
共同先端生命医科学専攻 (早稲田大学—東京女子医科大学)

先端医療機器、創薬、再生医学の迅速な
臨床への導入を実現する



共同先進健康科学専攻 (早稲田大学—東京農工大学)

生命科学、環境科学、食科学の分野から
健康科学の教育と研究を推進し、
社会に貢献できる新しい人材を育成



共同原子力専攻 (早稲田大学—東京都市大学)

先進原子力エネルギーと
放射線応用が創る新しい世界



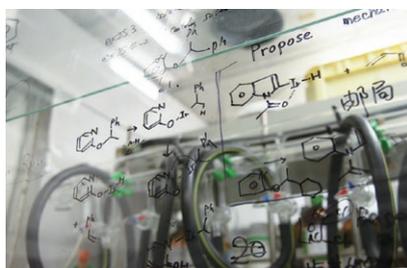
先進理工学専攻

5年一貫制博士課程

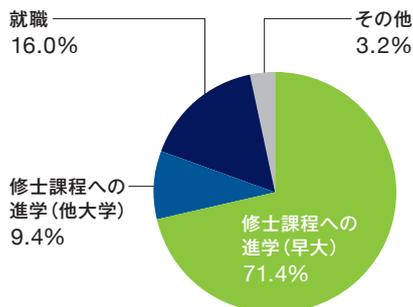
文部科学省「リーディング理工学博士
プログラム」に基づくグローバルリーダーを
育てる5年一貫制博士課程教育



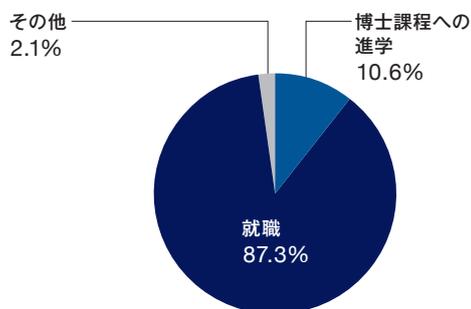
学部から大学院への 進学率は約80%



先進理工学部の卒業生の進路



先進理工学研究科(修士課程)の修了生の進路



主な就職先

- IHI
- 東京瓦斯(東京ガス)
- 旭化成
- 東京電力ホールディングス
- 旭硝子
- 東レ
- SBIホールディングス
- トヨタ自動車
- NTTコミュニケーションズ
- 日本IBM
- オリnbバス
- 日本電気(NEC)
- 花王
- 日本放送協会(NHK)
- キヤノン
- 野村総合研究所
- クラレ
- パナソニック
- コーセー
- 東日本電信電話(NTT東日本)
- JXエネルギー
- 日立製作所
- シミック
- 富士通
- 信越化学工業
- 本田技研工業
- 新日鐵住金
- 三菱重工業
- 住友化学
- 三菱電機
- ソニー
- 三菱UFJ銀行
- ソフトバンク
- ヤフー
- 中外製薬
- LIXIL
- デンカ
- リクルートホールディングス
- デンソー
- リコー
- 東海旅客鉄道(JR東海)
- ワークスアプリケーションズ ほか